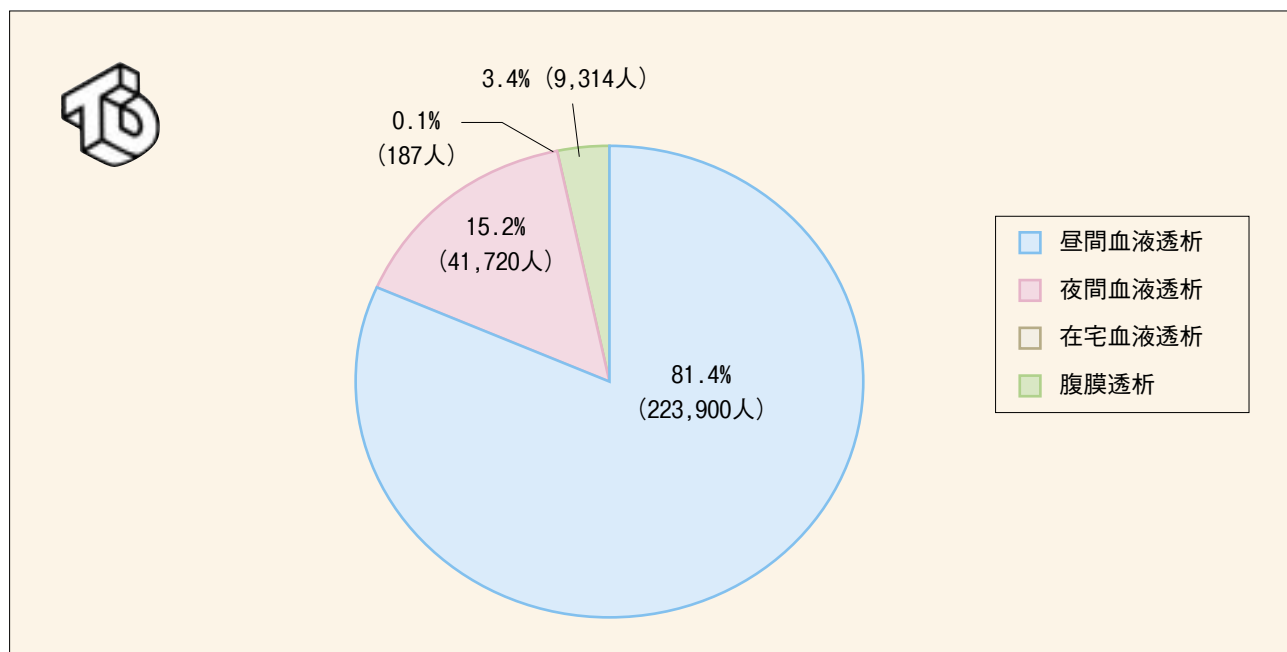


2) 患者数等

(5) 慢性透析治療の形態 (図表6)



都道府県名	昼間透析	夜間透析	在宅血液透析	腹膜透析	計
北海道	11,535	1,438	5	450	13,429
青森県	2,676	221	0	121	3,018
岩手県	2,269	360	0	144	2,773
宮城県	3,548	832	0	89	4,469
秋田県	1,632	145	0	63	1,840
山形県	1,808	256	1	139	2,204
福島県	3,641	497	0	230	4,368
茨城県	5,344	856	1	154	6,355
栃木県	4,324	719	1	62	5,106
群馬県	3,949	751	0	133	4,833
埼玉県	11,362	1,961	19	449	13,791
千葉県	9,411	1,851	0	233	11,495
東京都	20,775	5,039	4	850	26,667
神奈川県	12,979	2,985	9	526	16,500
新潟県	3,403	993	1	138	4,535
富山県	1,837	279	1	67	2,184
石川県	1,904	381	0	86	2,372
福井県	1,395	214	0	82	1,691
山梨県	1,759	210	1	20	1,990
長野県	3,482	646	1	133	4,261
岐阜県	3,387	613	0	161	4,161
静岡県	7,126	1,355	3	248	8,733
愛知県	11,215	3,108	52	573	14,946
三重県	2,921	656	3	137	3,717
滋賀県	1,950	504	9	92	2,555
京都府	4,128	934	2	160	5,224
大阪府	16,707	2,741	48	657	20,154
兵庫県	8,798	1,757	9	332	10,896
奈良県	2,507	222	3	113	2,845
和歌山県	2,298	293	1	27	2,619
鳥取県	993	124	0	116	1,233
島根県	1,140	145	0	87	1,372
岡山県	3,398	489	0	243	4,130
広島県	5,545	527	0	441	6,513
山口県	2,660	359	0	133	3,152
徳島県	1,954	287	0	178	2,419
香川県	1,919	247	7	239	2,412
愛媛県	2,661	439	1	166	3,267
高知県	1,806	202	0	45	2,052
福岡県	9,722	2,217	1	336	12,275
佐賀県	1,586	289	0	13	1,888
長崎県	2,828	522	1	136	3,487
熊本県	4,492	949	0	150	5,591
大分県	3,045	361	1	120	3,527
宮崎県	2,801	537	0	56	3,394
鹿児島県	4,145	529	2	115	4,790
沖縄県	3,135	680	0	71	3,886
合計	223,900	41,720	187	9,314	275,119

※慢性透析患者の総数は、シート I 患者総数欄の合計であり、治療方法別患者数の合計とは必ずしも一致しない。

施設調査による集計

解説

慢性透析治療の形態

2007年における慢性透析患者の治療形態は昼間血液透析が81.4%で、前年度より0.7%増加した。夜間血液透析は15.2%で0.5%減少した。この傾向は2006年末の結果と同様である。今回の調査からCAPDとIPDは合わせて腹膜透析という治療形態とした。腹膜透析患者数は9,314人で前年度より91人増加したが、割合としては0.1%減少した。在宅血液透析患者数は187人で前年度より40人増加した。腹膜透析患者は全国で同等に分布しているが、在宅血液透析は愛知、大阪、埼玉などに集中していて、地域偏在性がある。